

平成 26 年度 公益財団法人京葉鈴木記念財団 事業報告書

I 概況

1. 支援者による寄付金

当財団は、当期(平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日まで)に、京葉鈴木グループ(K S G)各社 24 件、K S G 社員 59 件、社外 53 件で合計 58,324,587 円の協力を得ることが出来ました。(別紙参照 前年比-20 件、8,748,077 円減額)

2. 助成先(平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日まで)

53 件に対して合計 5,475,644 円の支援する事が出来ました。詳細は別紙のとおりです。(前年比+3 件 175,320 円減額)

3. K S J 株式(優先株、議決権なし、6%配当保証)の寄付を受ける

平成 25 年 3 月 22 日上記株式を、三井住友銀行、新小岩支店より 6,000 千円を借入れて(無担保無保証借入、固定金利 年 1.65%にて調達)購入したほか、平成 26 年 12 月に鈴木恵美子氏より同株式を 30,000 株、鈴木孝行氏より 4,200 株の合計 34,200 株を無償にて寄付を受けました。既に保有株式と合計で 153,144 株を保有することで未来に得られる配当収入は公益目的事業である助成事業の財源に直接使っていきます。

4. 施設利用状況について

延べ 1,374 件(前年比+128 件)に対して、(船橋グラウンド 783 件、豊富グラウンド 251 件、蓮沼合宿所 114 件、白井グラウンド 48 件、東小岩バッティングジム 114 件)当財団が借上げている施設を、無償貸与することができました。

上記の豊富町グラウンド(面積約 3,500 坪 野球場 2 面分 2,800 坪、雑地 300 坪 物品倉庫 2 カ所、散水井戸、トイレ、場内車、駐車場約 30 台分)を 1 億円で購入しました。

II 今期課題

1. 公益法人 4 期目となり、基本ルールの遵守と、法人の更なる安定経営を目指す。
2. 支援先の拡大を望み、青少年健全育成により一層関与する。
3. 寄付金の税制を理解してもらい安定的に財源を確保する。